

■著者紹介

亀井克之 (かめい かつゆき)

関西大学社会安全学部 教授
日本リスクマネジメント学会 理事長

1962年 大阪府生まれ

1990年 大阪外国語大学大学院 修士課程フランス語学専攻修了

1997～1998年 フランス政府給費留学生としてエクス・マルセイユ第三大学 IAE (企業経営研究院) に留学し DEA (経営学) 取得

2002年 大阪市立大学大学院 博士 (商学)

【主要著書】

『新版フランス企業の経営戦略とリスクマネジメント』(法律文化社, 2001年) (日本リスクマネジメント学会賞, 渋沢・クローデル賞 ルイ・ヴィトン ジャパン特別賞)

『基本リスクマネジメント用語辞典』(編著) (同文館出版, 2004年)

『経営者とリスクテイクング』(関西大学出版部, 2005年)

『ワイン・ウォーズ: モンダヴィ事件』(トレス著, 訳書) (関西大学出版部, 2009年)

『ソーシャル・リスクマネジメント論』(共著) (同文館出版, 2012年)

『危機管理とリーダーシップ』(共著) (同文館出版, 2013年)

『子どもの安全とリスク・コミュニケーション』(共著) (関西大学出版部, 2014年)

『現代リスクマネジメントの基礎理論と事例』(法律文化社, 2014年)

『経営学とリスクマネジメントを学ぶ: 生活から経営戦略まで』(法律文化社, 2014年)

『新たなリスクと中小企業: 日仏シンポジウムの記録』(編著) (関西大学出版部, 2016年)

『日本的リスクマネジメント理論の現代的意義—亀井利明最終講演の記録—』(共著) (関西大学出版部, 2016年)

『市民マラソンがスポーツ文化を変えた』(共著) (関西大学出版部, 2017年)

『決断力にみるリスクマネジメント』(ミネルヴァ書房, 2017年)

関西大学社会安全学部編『社会安全学入門』(ミネルヴァ書房, 2018年) 第11章「リスクマネジメント」, 第13章「クライシスマネジメント」

Risk Management — Basic Theory and Case — (Kansai University Press, 2019)

『続・市民マラソンがスポーツ文化を変えた』(共著) (関西大学出版部, 2020年)

上田和勇編『復元力と幸福経営を生むリスクマネジメント』(同文館出版, 2021年) 第1章「現代企業におけるリスク情報の開示の意義」

『日英仏 日本拳法の基本習得教書—日本拳法に学ぶリスクマネジメント』(関西大学出版部, 2021年)

『フランス映画に学ぶリスクマネジメント—人生の岐路と決断』(共著) (ミネルヴァ書房, 2022年)

関西大学社会安全学部編『検証 COVID-19災害』(ミネルヴァ書房, 2022年) 第10章「企業への影響対策」(共著)

『日仏対訳 フランス医療機関におけるアート アートとリスク感性』(関西大学出版部, 2023年)

『ファミリービジネスの事業承継と経営戦略』(編著) (関西大学出版部, 2024年)

■イラスト

村上あかり 中塚登美子 亀井克之 朝陽このみ 上坂 朝